

入善町 議会だより

No. 15

発行 者

富山県入善町議会

TEL 0765-72-1100

発行 入善町議会議長 上野 幸一
 編集 入善町議会だより編集委員会
 印刷 田中印刷所

豊年



秋まつり

第 30 回

定 例 議 会

第 30 回 月 9

九月定例議会は会期四日間として、一般会計補正予算、特別会計補正予算(二件)、条例案件二件、その他の案件二件、人事案件一件、認定案件一件、請願十二件、陳情三件、議員提出議案二件が上程され、いずれも原案のとおり可決、または承認された。

定例議会

会 議 の 経 過

二十一日(休)

議員全員協議会

本会議

● 会議録署名議員の指名

● 会期の決定

● 寄付の採納

● 請願第十一号から第十四号までの四件、陳情第三号から第五号までの三件(委員

長報告、討論、採決)

● 議案第四十号から第四十七号までの八件

(町長の提案理由の説明)

● 請願第十五号から第二十二号までの八件

(紹介議員請願主旨の説明、質疑)

二十二日(休)

本会議

● 一般質問

二十三日(休)

休 会

二十四日(出)

本会議

● 議案第三十九号(委員長報告、討論、採決)

● 議案第四十号から第四十七号(質疑、討論、採決)

● 請願第十五号から第二十二号(討論、採決)

● 同意案第二号(提案理由の説明、即決)

● 議員提出議案第三号から第五号(理由説明、即決)

昭 和 5 1 年 度 決 算

7 会 計

単位：円

区 分	収 入 済 額	支 出 済 額	差 引	
会 計 別				
一 般 会 計	3,508,986,708	3,432,514,435	76,472,273	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	606,802,185	593,733,006	13,069,179
	簡 易 水 道	13,655,111	10,986,141	2,668,970
	福 祉 会 館	14,693,319	14,645,222	48,097
	土 地 取 得	20,896,696	12,213,566	8,683,130
	分 譲 宅 地	42,263,546	35,020,153	7,243,393
	奨 学 資 金	2,942,853	1,152,000	1,790,853
	小 計	701,253,710	667,750,088	33,503,622
合 計	4,210,240,418	4,100,264,523	109,975,895	

可決された議案・その他

(第30回定例会)

- 報告第4号 寄付採納について(寄付件数8件、現金換算2,737,500円)
- 議案第39号 昭和51年度入善町歳入歳出決算認定について
 (1)昭和51年度入善町一般会計歳入歳出決算
 昭和51年度入善町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
 (3)昭和51年度入善町簡易水道特別会計歳入歳出決算
 (4)昭和51年度入善町武村福祉会館特別会計歳入歳出決算
 (5)昭和51年度入善町育英奨学資金特別会計歳入歳出決算
 (6)昭和51年度入善町土地取得特別会計歳入歳出決算
 (7)昭和51年度入善町分譲宅地特別会計歳入歳出決算
- 議案第40号 昭和52年度入善町一般会計補正予算(第1号)
 減額補正 12,292千円
 現計予算額 3,554,408千円
- 議案第41号 昭和52年度入善町簡易水道特別会計補正予算(第1号)
 追加 1,348千円
 現計予算額 12,458千円
- 議案第42号 昭和52年度入善町土地取得特別会計補正予算(第1号)
 追加 10,200千円
 現計予算額 22,425千円
- 議案第43号 昭和52年度入善町分譲宅地特別会計補正予算(第1号)
 追加 9,493千円
 現計予算額 14,703千円
- 議案第44号 入善町各種委員会委員等の報酬及び費用弁償並びに実費弁償支給条例の一部改正について
- 議案第45号 入善町母子寮条例の廃止について
- 議案第46号 町の境界について(東部土地改良区関係)
- 議案第47号 字の区域の変更及び廃止について(東部土地改良区春日工区)
- 同意案第2号 教育委員会委員の任命同意について
 (舟見 脇坂徳治選任)
- 議員提出議案第3号 入善町議会委員会条例の一部を改正する条例
- 議員提出議案第4号 町長の専決事項の指定について
- 議員提出議案第5号 老人医療の技術改革に関する意見書

採択された請願・陳情

第28回定例会提出(閉会中の委員会審査)

- 請願第11号 町、農道舗装工事方に関する請願(五十里部落)
- 請願第12号 日川4号線舗装方請願
- 陳情第3号 町道荒又春日線の安全柵設置に関する陳情
- 陳情第4号 荒又公民館の改修に関する陳情

第29回臨時会提出(閉会中の委員会審査)

- 請願第13号 町営モデル事業及び非補助舗装事業推進に関する請願(野中地区)
- 請願第14号 愛場、西中横2号線拡張舗装に関する請願
- 陳情第5号 上原小学校改築に関する陳情



現場説明を聞く決算特別委員

第30回定例会提出

- 請願第15号 道路舗装に関する請願(上野地区)
- 請願第16号 道路舗装に関する請願(上野、青木地区)
- 請願第17号 保安施設設置方請願(東狐地区)
- 請願第18号 農村公園設置方請願(青木地区)
- 請願第19号 入善町立入善西中学校プールの建設に関する請願
- 請願第20号 谷江ため池の非補助事業実施に伴う地元負担の援助に関する請願
- 請願第21号 愛本新用水の新設に伴う地元負担の援助に関する請願
- 請願第22号 道路舗装に関する請願(高塚団地内)

立枯れ同然 ●●●●

塩害対策に万全を期せ

—町政一般質問—

公害の発生を懸念する

上島 藤吉 議員

① 新和工業福島工場の建設が本決りとなったが、飯野地区の住民は公害の発生するのを懸念している。協定書を結ぶなど公害に取り組む姿勢を明確にしてほしい。

尚飯野保育所の改築については未年確実を実現してほしい。

町長

① 新和工業福島工場は、水銀やカドミウムといったような性質のものは一切使われない鋳物工場であります。

将来は、ノッキ、等をするのではないかとという心配があるようでは

すが、水銀を使用して、メッキするような工場にするには、根本的に建物を改造しなければならずそのようなことはあり得ない。

公害の規準も、県が指定する県条例等の規制規準よりはるかに低い数値で、厳格な協定書を取り交わし住民の皆様にご安心いただくように致します。

飯野保育所の改築は、国庫補助対象となっても一五〇名定員の認可を受ける事がむづかしい現状にある。来年はぜひ実現するように交渉してまいります。

地区公民館の整備促進をはかれ

谷 雪枝 議員

① 核家族化が進む現代社会の中で、親子断絶ということが大きな社会問題となつてきている。

このような問題を解消するためには、コミュニティ推進活動の場として、地区公民館の建設が急務だと考える。

農協支所を間借りしている地区公民館や、老朽化している中央公民館の建設促進についてお聞かせ願いたい。

② 食生活の改善、生活様式の変化、医学の進歩などで寿命が延びている一面、ガンや糖尿病等の成

人病が増えている。

健康は家庭生活の基盤であり、日頃からの健康増進がのぞまれるとき、町民の健康増進対策について所信を承りたい。

町長

① 地区公民館として、入善地区は中央公民館、飯野地区は農村環境改善センター、新屋及び小摺戸地区は南部コミュニティセンターで充分にその機能を發揮している。

野中地区と門山地区は本年度改築の公民館で、それぞれ充分に対応出来るようになっていく。

又、舟見地区は来年度支所跡に改築の計画を立てている。

上原地区、青木地区、横山地区の公民館については、敷地の問題時期の問題など地元との協力を得て検討したい。

中央公民館については、近い将来に近代的な設備を完全に整えた五階建ぐらいなものにしたいと思っておりますが、慎重に考えてまいります。

② 厚生省は、健康管理増進を五十三年度の重点事業にあげ、各市

町村に保健センターを整備しサービスを強化する構想をたてておりますが、本町においては既に健康センターが完成しており、活発な保健活動、公衆衛生活動を展開している。

この施設を拠点とし、従来の活動に加え健康センターの検査機能の充実を図る。或いは、血圧測定、食生活改善の推進、そして健康管理システムをつくるなど今迄の活動以上に推進し、町民の健康増進をはかりたい。

用水工事

場所 入善町上飯野

工事名 新和工業株式会社
福島工場水路付替
その3工事

工期 着工 昭和52年8月11日
完成 昭和52年11月20日

発注者 入善町

運動公園に照明設備を

福沢 万次 議員

① 町民一人、一スポーツということで屋内屋外共にさかんにスポーツが行われております。西中学校の体育館も夜間解放をしており非常に利用者が多く聞いています。運動公園に夜間の屋外スポーツの出来る照明設備をつくる考えはないか。

② 大巾な稲作減反政策に対して町の指導と対策をお聞かせ願いたい。

町長 政府は、強く地域分担政策を進めるべきであり、それを受けた果は優良米の産地である入善町の位置づけを強くすべきだと考えています。

塩害対策を聞きたい

岩場 俊 議員

① 入善町の一二キロメートルに及ぶ海岸、防波堤を完備することは、沿岸漁業の振興や海岸沿線の農業にとり、重要な問題である。今年、五十里、田中部落に、農作物に対する塩害が発生したが、この対策を聞きたい。

② 本町の住宅政策は、分譲宅地の造成により大きく飛躍したが、まだまだ住宅を取得したい人があ

ると思われるかどうか。

また分譲宅地の造成が困難になつていると聞か、公営住宅の建設と合わせて、町の考え方を聞きたい。

町長

① 八月七日の夜から次の日の朝にかけて、田中、五十里部落の海岸、約一千メートルにわたって被害を受けた。ちよつと稲の穂が出

る時期に重なり、一、〇〇〇ヘクタールが被害を受けた。

入善海岸は寄り廻り波と、海岸のすぐ前が深い谷となつているため、ここから出る波は強いエネルギーをもつていて、海岸を削る。建設省は護岸の前に消波工、難岸堤を作り、うしろに副堤、道路幅二五メートルのグリーンベルトを作る計画をしている。横山地区では副堤の用地買収が終了、グリーンベルトも一部できています。発生した被害に対しては、とりあえず農業共済組合の共済金による救済をするが、根本的な対策は建設省の計画を実施することである。この促進を強く働きかけ、万

どうなるか入善中学校

前田 勇 作 議員

① 黒部川にダムが整備され、現在程の河川敷地が不要と思われるので、これを狭め工業用地を造成し工場誘致をする考えはないか。

② 入善中学校改築事業計画の進捗状況をお聞かせ願いたい。

① 黒部川の河川敷地の利用については公園を作らせてもらっているが、これは異例なことで構造物を建てられない事になっている。建設省は、護岸を強くしても、川の幅を狭める事は一切認めない。

② 入善中学校の用地買収のため六、〇〇〇万円の子算が議決され、

現在の校舎の西側用水路を越えた所で買収することを計画したが、了解を得ることがむずかしく、東側でその分を買収したい。当然代替地の要求が出るので、その準備をしている。現在の宅地より条件の良いと思われる場所を用意しても、一応は反対されるだろうし、動きたくないことは人情として理解できるが、協力をお願いしている。

高等学校の実習地についても、県に協力を依頼している。難関を乗り越えて実現したいと思つている。

議会日誌

七月	5日	新潟県中蒲原郡村松町議会より視察来町
	12日	青森県東津軽郡平賀町議会より視察来町
	14日	滋賀県愛知郡泰荘町議会より視察来町
	16日	昭和五十二年産米価要求全国大会（於東京都日本武道館）
	20日	下新川郡町議会議長会（於入善町）
	21日	東京入善会（於東京都鳩森社々務所）
	22日	上、中、下新川郡町村議会正副議長会総会（於赤月町）
	27日	新川広域圏事務組合議会七月定例会（於魚津市役所）
	28日	議員全員協議会
	28日	第二九回入善町議会臨時会
	28日	高根県那賀郡三隅町議会より視察来町
八月	自6日	決算特別委員会
至27日		
九月	5日	議会運営委員会
	12日	香川県綾歌郡綾南町議会より視察来町
	13日	文教厚生常任委員会
	14日	産業建設常任委員会
	20日	香川県三豊郡材田町議会より視察来町
自21日		
至24日		第三十回入善町議会定例会

黒東小の新築が始まる 総工費3億9,610万円



第29回臨時議会 7月27日

(町長提案)

◎報告第三号昭和五十一年度入善町継続費精算に
関する報告について(入善町立西中学校分)

◎議案第三十八号工事請負契約について(入善町
立黒東小学校新築工事)

●主体工事

契約金額 三億八千万円

契約の相手方

魚津市 共同建設株式会社

●暖房衛生設備工事

契約金額 四千八百六十万円

契約の相手方

富山市 鈴木工業株式会社

●電気設備工事

契約金額 四千六百七十万円

契約の相手方

富山市 富山空調電設株式会社

●工期

何れも昭和五十三年十一月三十日

◎議案第三十九号昭和五十一年度入善町歳入歳出
決算認定について(一般会計ほか六特別会計)

●決算特別委員会設置

●決算特別委員会付託閉会中の審査とする

●決算特別委員会委員の選任

決算特別委員会委員

委員長 長 島 啓太郎

副委員長 浜 田 幸 晴

委 員 上 野 幸 一

” ” 鳴 田 久 之

” ” 米 島 一 信

(諸願陳情)

●諸願第十三号ないし諸願第十四号及び陳情第
五号

諸願二件陳情一件は、いずれも所管の常任委
員会に付託し、閉会中の審査とすることとな
る。

目・耳・声

九月定例会に寄せて

九月二十一日に開会された定例
町議会は、現議員にとって最後の
議会でありました。
いまから四年前、混戦を極めた
選挙戦を闘い見事議員の座を射止
めて以来、町民のニードが多様化
するなかで町政全般に亘り活発な
議会活動に専念され、なすべき諸
対策も多かったと受けとります。
かえりみれば、現議員の任期中
は誠に激変の四年間であったと痛
感しています。
オイルショックに端を発した我
が国の経済はインフレの高進と不
況に直面し、加えて政治の混迷と
政権の交替など社会の全分野に亘
り時代の転換期を思わせる諸々の
激動が相次ぎ、ちょうど昭和初期
の世界経済恐慌に近似した世相を
呈しているのであります。

このような客観情勢にあつて、
議員各位は町政の動向を見極め財
政を主軸に福祉、農業、環境保全
教育、防災、交通、青少年育成、
中小企業対策など当面する諸対策
に議会の総意と総力を結集し、町
当局と車の両輪として大所高所の
立場から施策の具現化に努力され
ました。

今議会限りで後進にバトンタッ
チされる各位は、ひととき感慨無
量なものがあろうかと思ひます。

どうか健康に留意され町の進路
を見守って下さい。

七十年代後半から八十年代にか
けてこれからの十年は変動の大き
な時代であると予想され、つまり
次十年間は、戦後からこれまでの
三十二年にも匹敵するほど激しく
異質な社会へと変容する時期であ
らうかと思ひます。
やがて選良される新議員は、ど
うかきびしい社会環境を踏まえ、
町民による町民のための町政に町
民の理解と協力を得て、町民本位
の議会運営に徹するよう特にお願
い致したい。

入 講 西村三天



編 集
後 記

菊香おる頃となりました。読者
の皆様は、激しい選挙戦の後で発
行された本号には、新しい議員
による議会の構成や、議員の紹介
記事を期待されたかと思われま
す。それらは増刊号として、なるべ
く早く発行します。
本号は九月議会の一般質問を中
心として編集しました。
寒さに向う折から、風邪をひか
ぬように、お気をつけ下さい。